

楽山荘2地区 がけ崩れ対策事業

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現
施策3：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

事業概要

- 所在地：桐生市堤町一丁目
- 地区名：楽山荘-2地区
- 事業内容：擁壁工、崩壊土砂防護柵工
- 全体事業費：約2億円
- 事業期間：平成29年度～令和4年度（6年間）
- 保全対象：人家 57戸（うち特別警戒区域内9戸）
 鉄道

崩壊土砂防護柵とは、
斜面から崩れ落ちる土砂を、鋼杭とフェンスで受け止め、
被害を防止するものです。

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・土砂災害リスクを軽減するため

擁壁と防護柵を
つくります

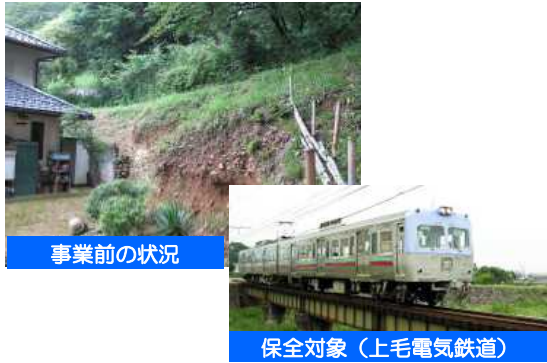


・豪雨などで、急に裏山が崩れてこないかとても心配。（近隣住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
保全される人家	0戸	57戸

実施前

- ◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

保全対象（上毛電気鉄道）

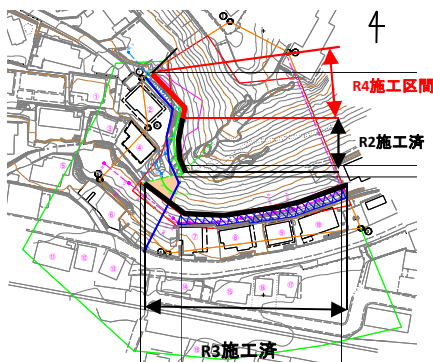
実施後

- ◆擁壁をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後の状況（イメージ）

事業の進捗状況（R4年3月現在）



今、何をしているか

令和3年度は、崩壊土砂防護柵工事を行いました。
令和4年度は、重力式擁壁工事を行います。



R4年度施工箇所

事業のすすみ具合

事業開始 ● ●●●●● 事業完了